vinetur

9月のスペイン、飲食業が牽引し宿泊・飲食業の売上高が2.9%増

宿泊業の売上高は2.1%増にとどまり、宿泊・飲食業はサービス業全体の8.5%増を大きく下回った

2026年11月20日（金）



スペイン国立統計局（INE）が11月20日（金）に発表したデータによると、スペインの宿泊・飲食業の9月の売上高は前年同月比2.9%増となり、飲食サービスが宿泊業を上回る伸びを示した。

この統計は、ホテルなどの宿泊施設に加え、レストラン、バーなどの飲食関連事業を対象としている。INEによると、同業界の9月の売上高は2025年9月を上回り、夏季シーズン終盤も名目ベースで増加が続いた。

最も大きく伸びたのは飲食サービスで、売上高は前年同月比3.4%増だった。宿泊サービスの伸びはこれを下回り、2.1%増となった。つまり、業界の飲食部門は宿泊部門を1.3ポイント上回る成長を記録した。

データからは、宿泊・飲食業の拡大が続いた一方、スペインのサービス業全体と比べると、そのペースは大幅に遅かったことが分かる。サービス業全体の9月の売上高は8.5%増で、宿泊・飲食業は全国のサービス業平均を5.6ポイント下回った。

INEはまた、宿泊・飲食業の雇用指数が前年同月比0.7%上昇したと発表した。業界の雇用はわずかながら増加を続けたものの、売上高の伸びに比べると大幅に緩やかだったことがうかがえる。宿泊・飲食業部門について公表された資料には、宿泊サービスと飲食サービス別の雇用変化の詳細な内訳は示されていない。

9月の数値は、観光シーズンのピークを過ぎた後の、スペインの重要なサービス産業の一つを幅広く捉えたものだ。宿泊・飲食業は、国内消費と海外からの観光を結び付けるため、スペイン経済で大きな役割を担っている。特に大都市や沿岸部の観光地でその存在感は大きい。それでも、公式統計はサービス業全体と同水準の勢いを示してはいない。

INEが公表する売上高指数は当年価格で算出され、インフレ調整は行われていない。そのため、2.9%の増加を、販売数量の増加や顧客需要の拡大を直接示す数値とみなすことはできない。食事の提供数、販売客室数、宿泊数が増えたのではなく、価格上昇が伸びの一部を占めている可能性がある。

この点は、業界の主要な二つの部門を比較する際に特に重要だ。飲食サービスの売上高の伸びが速かったからといって、レストランやバーがホテルなどの宿泊施設から市場シェアを獲得したとは限らない。指数の対象期間において、飲食サービスの請求ベースの売上額がより速く増加したことを示すにすぎない。

今回の公式発表は、INEの9月のサービス業活動指標と、同局が11月20日（金）に公表した宿泊・飲食業の内訳の更新データに基づく。比較対象は2026年9月と2025年9月だった。

この業界の事業者にとって、今回の数値は名目ベースで安定したものの緩やかな成長を示している。レストラン、バーなどの事業者が最も大きな伸びを記録し、宿泊事業者も増加したが、そのペースはより遅かった。一方、サービス業全体との開きは、9月のスペインのサービス業売上高の伸びを宿泊・飲食業が主に牽引したわけではないことを示している。